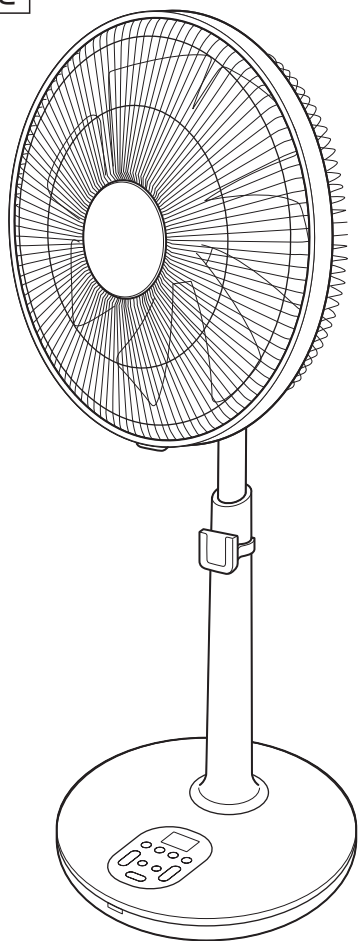
siroca

リビング扇風機
SLS-3001
取扱説明書

保証書つき

このたびは siroca リビング扇風機 SLS-3001 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

※ この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

●表示の説明

警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注意	取り扱いを誤った場合、障害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

()：	禁止（してはいけない内容）を示します。
()：	強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

⚠ 警告

分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない

発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

禁止

子どもだけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない

感電・けがの原因になります。

禁止

本体のすき間、開口部にピンや針金などの金属物を入れない

本体内部に入り、ショート・故障・けがの原因になります。

禁止

以下の場所では使わない

感電・ショート・火災・爆発の原因になります。また、事故・故障の原因になります。
火気の近く、水しぶきのかかるところ、高温多湿になるところ、油や油煙が発生するところ、引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナーなど）の近く　など

禁止

引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、火の気のあるもの（たばこ・線香など）、可燃性のもののそばで使わない

発火・火災の原因となります。

禁止

風をストーブなどの燃焼器具に向けて使用しない

不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因となります。

禁止

屋外では使用しない

発火・火災の原因となります。

禁止

布や紙、ビニール袋などで覆ったり塞いだりして運転しない

発火・火災の原因となります。

禁止

乗ったり寄りかかったりしない

感電・やけど・けがなどの原因となります。

水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電・故障の原因になります。

包装用ポリ袋は子どもの手の届かない場所に保管する

誤って顔にかぶったり、首に巻きついたりして窒息し、死亡の原因になります。

製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。
<異常・故障例>

・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする

など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。

電池の取り扱いには十分注意する

使いかたを誤ると、発熱や破損、けが・やけど・感電の原因になります。

・指定以外の電池を使わない
・＋と－を逆にして使わない
・充電、分解、加熱しない
・ショートさせない
・火の中に入れたり、加熱しない
・水につけたり、ぬらさない
・子どもの手の届くところに置かない
・子どもがなめたり飲み込んだりしないように注意する
・電池から漏れた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流す
・長期間使わないときは、電池を取り出す

など

◆ 電源コード・電源プラグについて ◆

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・けがの原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100V 以外での使用はしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱･発火･火災･感電･故障の原因になります。

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因になります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。
傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む　など

電源プラグを子どもになめさせない
子どもが誤ってなめないように注意してください。
感電やけがの原因になります。

持ち運ぶときや収納するときは電源コードを引っ張らない
コードがショートや断線して火災･感電の原因となります。

コードを突っ張った状態で使用しない
コードがショートや断線して火災･感電の原因となります。

コードをステップルや釘などで固定しない
コードがショートや断線して火災･感電の原因となります。

コードをベースなどで踏みつけたままにしない
火災・感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。

電源プラグの刃および刃の取りつけ面に付着したほこりは拭き取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
感電やショートによる発火の原因になります。

部品の取りつけ・取りはずし・お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電・けがの原因になります。

雷が鳴り出したら運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜く
火災・感電・故障の原因になります。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

⚠注意

◆ 羽根・ガードについて ◆

羽根・ガードを取りはずした状態で運転しない
けがの原因になります。

羽根・ガードを取りはずした状態で高さ調節ボタンを押さない
モーター部が飛び出して、けがの原因になります。

ガードに髪などを近づけない
巻き込まれて、けがの原因になります。

ガードの中や可動部へ指などを入れない
重大なけがの原因になります。特に子どもには注意してください。

使用中にガードを持って、上下左右に風向きを変えない
けが・故障の原因になります。

ガードにタオルなどをかけない
故障の原因になります。

◆ 使用上の注意事項 ◆

使用後しばらくは、モーター軸に直接触れない
高温のため、やけどの原因になります。

カーテンなどの障害物の近くや不安定な場所では使わない
転倒して、羽根の破損・けがの原因になります。

風を長時間、体に直接当てない
健康を害する原因になります。特に、乳幼児・お年寄り・ご病気のかたは注意してください。

ベースを付けずに運転しない
転倒して、けがの原因となります。

組み立てた状態では輸送しない
破損の原因となります。

首振り運転中は、無理に向きを変えない
破損の原因となります。

本製品を絶対に業務用に使わない
本製品は一般家庭用です。業務用にお使いになると無理な負担がかかり、火災・故障の原因になります。

殺虫剤・整髪料・掃除用具などのスプレーをかけない
樹脂や塗装部分が変質したり、破損したりする原因になります。

動植物に直接風を当てない
害を与えるおそれがあります。

この商品の近くで、無線機器（アマチュア無線・パーソナル無線など）を使用しない
誤作動の原因になります。

入タイマー設定中は、羽根・ガードに触れない
羽根が回り始め、けがの原因となります。

組み立てるとき・お手入れするときは、モーター軸を目や顔に近づけない
先端に接触してけがの原因となります。

長時間直射日光に当てない
変色などの原因となります。

テレビ・ラジオ・補聴器などの近くで使わない
電波が弱いときや室内アンテナを使っているときに、雑音が入ることがあります。影響のないところまで離してご使用ください。

フローリング床をワックスがけした後は、ワックスが十分乾いてから製品を置く
あとが付いたり、ワックスが剥がれる原因となります。

本体を移動するときは引きずらない
床面や畳に傷が付く原因になります。

パイプに油などを付けない
破損・けがの原因になります。

市販の保護ネットを取りつけない
ネットがガードに吸い込まれ、羽根の破損・けがの原因になります。

製品の組み立ておよびお手入れは取扱説明書通りに行う
部品がはずれ、けがの原因となります。

お手入れは冷めてから行う
モーター軸の高温部に触れ、やけどの原因になります。

丈夫で水平な床面に置く
不安定なところに置くと、転倒して、けがの原因になります。

本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する
羽根やガードがはずれたり、落下によりけがをする原因になります。

輸送するときは箱に収納して輸送する
破損の原因となります。

リモコンを廃棄するときは電池を抜き、各自治体の指示に従い処分する
そのまま廃棄すると思わぬ事故の原因となります。

仕様

品名（型番）	siroca リビング扇風機（SLS-3001）
サイズ（約）	幅 37 ×奥行 41.5 ×高さ（最大）112cm
電圧	AC100V
周波数	50/60Hz
消費電力	28W

風速（約）	230m/min
風量（約）	42m^3/min
重量（約）	4.6kg
コード長さ（約）	1.6m
付属品	リモコン（テスト電池付）、リモコンホルダー
生産国	中国

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

各部のなまえ

本体

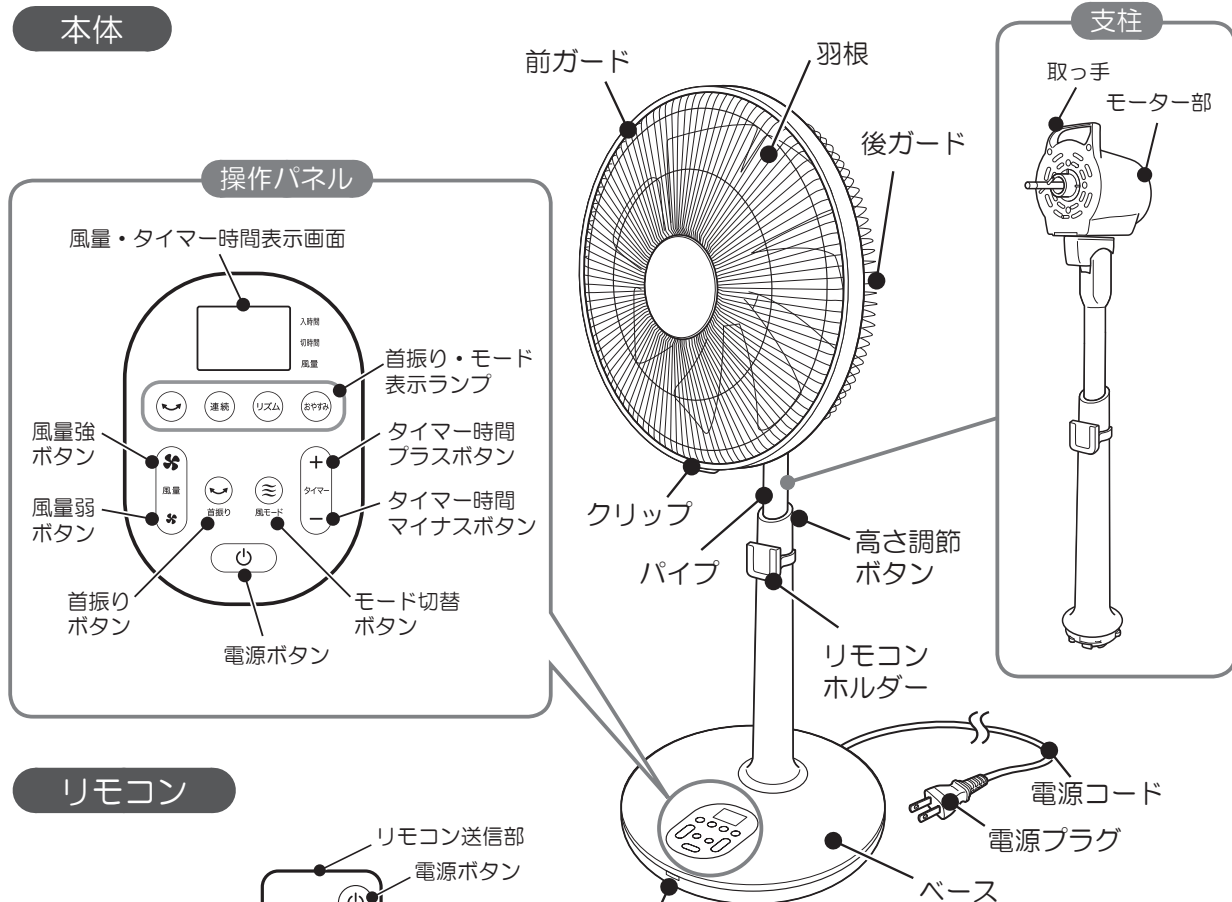
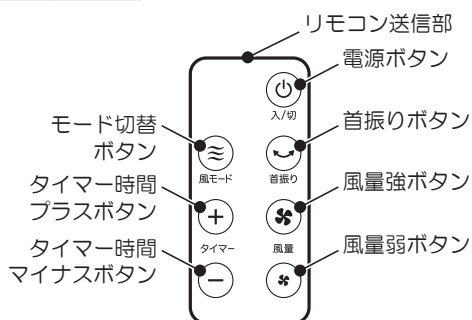
前ガード
羽根
後ガード
クリップ
パイプ
高さ調節ボタン
リモコンホルダー
電源コード
電源プラグ
ベース
受信部

支柱

取っ手
モーター部

操作パネル

風量・タイマー時間表示画面
首振り・モード表示ランプ
風量強ボタン
タイマー時間プラスボタン
風量弱ボタン
タイマー時間マイナスボタン
首振りボタン
モード切替ボタン
電源ボタン

リモコン

リモコン送信部
電源ボタン
モード切替ボタン
首振りボタン
タイマー時間プラスボタン
風量強ボタン
タイマー時間マイナスボタン
風量弱ボタン

リモコンの使いかた

リモコンをお使いになる前に、裏面の絶縁シートを引き抜いてください。

●電池はリモコンに入っています。テスト電池のため寿命が短くなっている場合があります。

リモコンの操作方法

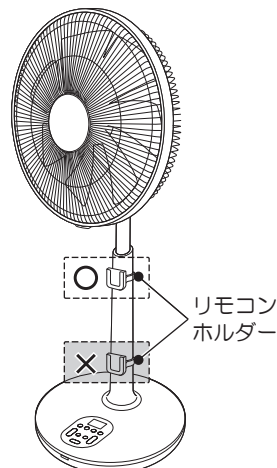
●運転や設定をするときは、リモコンの送信部を本体の受信部に向けて、ボタンを押します。

※以下のような場合は、リモコンの操作ができないことがあります。

・本体の受信部とリモコンの間に障害物（羽根・ガード含む）がある場合
・インバーター照明器具、電子瞬時点灯照明器具をお使いの場合
・本体の受信部に直射日光などの強い光が当たっている場合

※リモコンの送信部に傷を付けないでください。
※リモコンのボタンを、２つ以上同時に押さないでください。

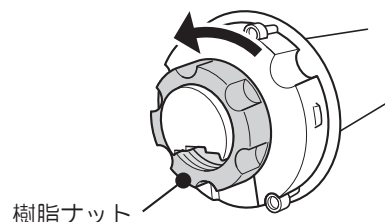
リモコンホルダーについて

※ 製品に付属している「リモコンホルダー」は、本体支柱上部に取りつけてください。本体支柱下部に取りつけると、本体から外れる可能性があります。

組み立てかた

※ 組み立てる前に支柱を立てたり、電源プラグをコンセントに差し込んだりしないでください。ショート・感電・けがの原因になります。
※ 羽根・ガードを取りはずした状態で運転しないでください。モーター部が飛び出して、けがの原因になります。
※ 本製品が入っていたダンボール、ポリ袋などの梱包資材は、長時間使わないときの収納のために、捨てずに保管しておいてください。

1 支柱底面に取りつけてある樹脂ナットをはずす

● 支柱を横向きに寝かせ、樹脂ナットを左方向に回してはずす

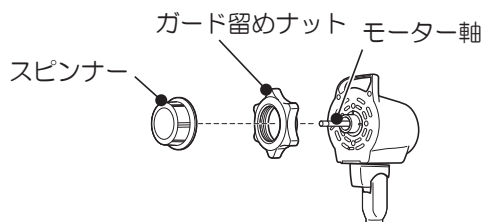
※ はずした樹脂ナットは、支柱とベースを取りつけるときに必要です。
なくさないように注意してください。

2 支柱をベースに取りつける

① 安定した平らな場所にベースを置き、ベース側のコネクターと支柱側のコネクター差込口を合わせて、支柱をベースに差し込む

※ 本体は安定した平らな場所に置いてください。不安定な場所に置くと、転倒して、けがの原因になります。
※ 支柱はしっかりと押し込み、ベースに固定されていることを確認してください。きちんと固定されていないと、支柱を持ち上げたときにベースからはずれて、けがの原因になります。

② 支柱とベースを支えながら横向きに寝かせ、樹脂ナットを支柱に取りつけ、右方向に回してベースにしっかりと固定する

※ 樹脂ナットはしっかりと固定してください。支柱とベースが樹脂ナットで固定されていないと、持ち運ぶときにベースがはずれて、けがの原因になります。
※ 支柱を無理に引っ張らないでください。支柱がベースからはずれて、けがの原因になります。
※ 本体は安定した平らな場所に置いてください。不安定な場所に置くと、転倒して、けがの原因になります。

3 モーター軸から、スピンナーとガード留めナットをはずす

4 後ガードをモーター部に取りつける

① 後ガードの丸穴をモーター部の凸部に合わせて差し込む

※ 梱包時は前ガード・後ガードがクリップで固定されており、羽根がその中に入っています。各パーツを取りはずしてから、組み立てを行ってください。

② 片手で後ガードを押さえながら、モーター軸にガード留めナットを差し込み、右方向に回してしっかりと固定する

※ガード留めナットは、確実にしっかりと固定してください。ガードがはずれて、機器の損傷・けがの原因になります。

5 羽根を取りつける

① モーター軸の回り止めピンと羽根裏側の凹部の向きを合わせて、羽根をモーター軸の奥まで差し込む

表側
裏側
裏側
回り止めピン

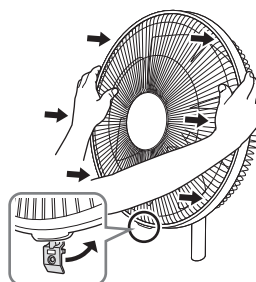
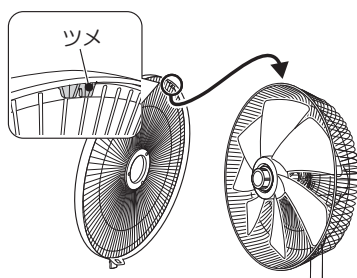
※羽根は必ず表側を前にして、正しい向きに取りつけてください。

② 片手で羽根を押さえながら、モーター軸にスピンナーを差し込み、左方向に回してしっかりと固定する

※スピンナーは確実にしっかりと固定してください。羽根がはずれて、けがの原因になります。

6 前ガードを取りつける

① 前ガードをクリップ部が下になるように持ち、上部のツメを後ろガードの上部に合わせる

② 6 箇所のフック部分を押してしっかりとはめ込み、前ガード下部にあるクリップで固定する

※前ガードのフック6箇所を確実に後ガードにはめ込んでください。ガードがはずれて、けがの原因になります。

使いかた

1 電源プラグをコンセントに差し込む

● “ピッ” という音がします。

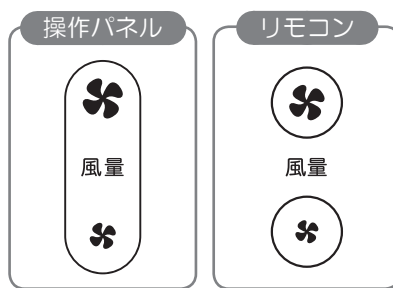
2 電源ボタンを押して、電源を入れる

● “ピッ” という音がして、運転が開始します。
● 再度電源ボタンを押すと、運転が停止します。

※ 運転を開始するときは、最初に電源ボタンを押してください。他のボタンを押しても運転は開始しません。
※ 操作を行わないまま 15 時間経過すると、自動的に電源が切れる仕様になっています。

3 風量を調節する

● 操作パネル／リモコンの風量強ボタンを押すと、風量が 1 段階ずつ強くなります。操作パネル／リモコンの風量弱ボタンを押すと、風量が 1 段階ずつ弱くなります。風量が「レベル 32（最強）」のときに、さらに風量強ボタンを押すと、風量は「レベル 1（最弱）」になり、風量が「レベル 1（最弱）」のときに、さらに風量弱ボタンを押すと、風量は「レベル 32（最強）」になります。
● 風量は「レベル 1（最弱）」から「レベル 32（最強）」まで 32 段階に設定できます。風量レベルに応じて、風量・タイマー時間表示画面に 1 ～ 32 の数字が表示されます。

操作パネル　風量
リモコン　風量

運転モードを切り替える

モード切替ボタンを押すと、運転モードをリズム風モードやおやすみモードに切り替えることができます。

操作パネル／リモコン

連　　続 … 同じ風量で連続して風を送ります。
リ ズ ム … 風量に変化をつけたリズミカルな風を送ります。
おやすみ … 30 分ごとに風量が弱くなるリズミカルな風を送ります。最弱の風量に達したら、そのまま連続で運転します。

● モード切替ボタンを押すごとに、
→ リズム → おやすみ → 連続 → の順番で運転モードが切り替わります。
● リズム風モード中は、操作パネルのリズム風表示ランプが点灯します。
● おやすみモード中は、操作パネルのおやすみモード表示ランプが点灯します。

首振り運転にする

首振りボタンを押すと、左右の首振り運転が開始され、もう一度ボタンを押すと停止します。

操作パネル／リモコン

● 首振り角度は、首を止めたところから左右 40 度です。

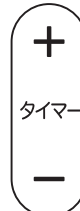
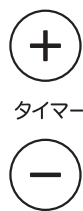
使いかた

タイマーを予約する

おやすみ時や起床時など、予約した時間になると、自動的に運転が停止する（切タイマー）、または開始する（入タイマー）ように設定できます。

※ 風量は、設定時の状態が保持されます。

※ 切タイマー、入タイマーの予約を解除する場合は、タイマーの時間を０時間に、設定しなおしてください。また、電源を切ると切タイマーの予約も解除され、電源を入れると入タイマーの予約も解除されます。

操作パネル

リモコン

切タイマー

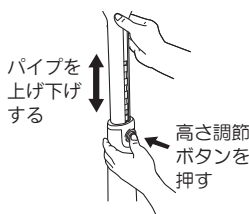
● 運転中に、操作パネル／リモコンのタイマー時間プラスボタンやタイマー時間マイナスボタンを押して、自動的に運転が停止するまでの時間を設定してください。タイマー時間は１時間単位で最大 15 時間まで設定できます。設定されているタイマー時間は風量・タイマー時間表示画面で確認できます。

入タイマー

● 運転停止中に、操作パネル／リモコンのタイマー時間プラスボタンやタイマー時間マイナスボタンを押して、自動的に運転が開始するまでの時間を設定してください。タイマー時間は１時間単位で最大 15 時間まで設定できます。設定されているタイマー時間は風量・タイマー時間表示画面で確認できます。

高さを調節するとき

片手で支柱後側の高さ調節ボタンを押しながら、もう一方の手でパイプ部分を上げ下げして、高さを調節する

※ 高さ調節ボタンを押さない状態でも、上から力をかけるとパイプの高さが低くなりますが、故障ではありません。

風向きを調節するとき

モーター部を軽く押さえ、上下に動かして、お好みの向きに調節する

※ センターから上に３段階、下に３段階の調整が可能です。カチカチと音が出る範囲まで調節できます。

※運転中にガードを持って、上下に動かさないでください。けがの原因になります。

使い終わったら

1 電源ボタンを押して、電源を切る

●“ピッ” という音がして、運転が終了します。

操作パネル

リモコン

2 電源プラグをコンセントから抜く

お手入れ／保管のしかた

※ お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、各パーツを下記の手順で取りはずしてから行ってください。
※ 本体を丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。また、本体や操作パネルに水をかけたりしないでください。感電・ショート・火災・故障の原因になります。
※ シンナー・ベンジン・研磨剤入り洗剤・みがき粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面に傷が付く原因になります。

各パーツを取りはずす

1 前ガードを取りはずす

● 前ガード下部にあるクリップの固定を解除し、6 箇所のフック部分を取りはずす

2 羽根を取りはずす

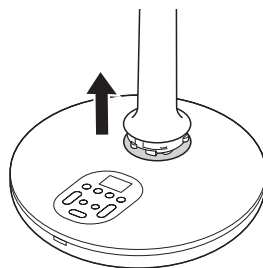
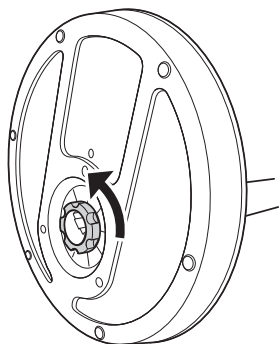
① 片手で羽根を押さえながら、スピンナーを右方向に回してモーター軸から取りはずす
② スピンナーを取りはずしたら、羽根をモーター軸から取りはずす

3 後ガードをモーター部から取りはずす

① 片手で後ガードを押さえながら、ガード留めナットを左方向に回してモーター軸から取りはずす
② ガード留めナットを取りはずしたら、後ガードをモーター部から取りはずす
③ 後ガードを取りはずしたら、ガード留めナットとスピンナーをモーター軸に戻す

4 支柱をベースから取りはずす

① 支柱とベースを支えながら横向きに寝かせ、樹脂ナットを左方向に回して取りはずす

② 支柱とベースを起こし、片手でベースを押さえながら、支柱を引き抜く

③ 支柱を取りはずしたら、樹脂ナットを支柱に戻す

お手入れ／保管のしかた

お手入れする

パイプ・ガード・ベース・羽根

- 柔らかいふきんを水またはぬるま湯にひたして固く絞り、汚れを拭き取る。
- 汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯にふきんをひたして固く絞り、汚れを拭き取る。

モーター部

- 掃除機でほこりを吸い取る。
- モーター軸の汚れは、柔らかいふきんで拭き取り、サビ防止のためにミシン油を薄く塗る。
  ※ モーター部にほこりが多量に付着していると、異常音・振動・モーターの過熱の原因になります。

保管する

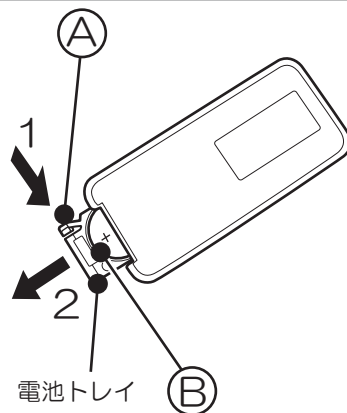
- お手入れをした後、各パーツをダンボールに収納し、湿気の少ないところで保管する。
  ※ 保管には、本製品が入っていたダンボール、ポリ袋などの梱包資材をお使いください。
  ダンボールや梱包資材は捨てずに保管しておいてください。
  ※ 保管するときは、必ずリモコンから電池を取り出してください。電池が液漏れをすることがあります。

リモコンの電池を交換する

1 リモコンを裏返し、Ⓐの溝にツメを引っかけて、1 の矢印の方向に動かす

2 手順 1 の状態のまま、Ⓑの溝にツメを引っかけて、電池トレイを引き出す

3 古い電池を新しい電池に交換する
※ 電池の＋側を上にして入れてください。
※ 必ずボタン型リチウムイオン電池 CR2025 をお使いください。

4 電池トレイを「カチッ」と音がするまで差し込む

故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた
羽根が回らない。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	スピンナーが緩んでいませんか。	羽根をスピンナーでしっかりと取りつけ直してください。
羽根は回るが異常な音がする。	スピンナーが緩んでいませんか。	羽根をスピンナーでしっかりと取りつけ直してください。
	ガードがしっかりと固定されていますか。	前ガードのフックを後ガードに確実にはめ込んでください。
リモコンで操作できない。	受信部に向けて操作していますか。	リモコンを本体の受信部に向けて操作してください。
	電池は消耗していませんか。	新しい電池に交換してください。
	電池の入れかた（＋と－の向き）が間違っていませんか。	電池を正しい向きで入れ直してください。
運転が自動的に止まる。	切タイマーを設定していませんか。	切タイマーを解除してください。
	操作せずに、15 時間経過していませんか。	操作を行わないまま 15 時間経過すると、自動的に電源が切れる仕様になっています。
運転が自動的に始まる。	入タイマーを設定していませんか。	入タイマーを解除してください。

こんなとき	理由
風量が変化するときの回転音が気になる。	風量が一時的に強まるとき、モーターから“ウィーン”、“ウォーン” と音がすることがあります。モーター特有の音で、異常ではありません。
首振りするときの動作音が気になる。	首振り運転時に、“カタカタ”、“コトコト” と音が一時的に強まることがあります。首振りモーター特有の音で、異常ではありません。
首振りが一時的に止まる。	首振りの角度が両端のとき、一時的に止まることがあります。首振りモーターが位置を確認するために一時的に空回りしているためで、異常ではありません。

長年ご使用の扇風機の点検を！

※ 定期的に「安全上のご注意」や「使いかた」を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
※ 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

・ 株式会社オークセール（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
・ 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
（a） 修理やその確認業務を委託する場合
（b） 法令の定める規定に基づく場合

別売品

劣化・損傷したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店でお買い求めください。

別売品	部品コード
リモコン	SLS-3001RC

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

● 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

【製造年】本体に西暦 4 桁で表示してあります。

【設計上の標準使用期間】本体に表示してあります。
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

● 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
● 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また偶発的な故障を保証するものでもありません。

標準使用条件

日本電気工業会自主基準 HD-116-3 による

環境条件	電圧	100V	
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	製品の取扱説明書による （水平で安定した場所）
負荷条件		定格負荷（風速）	製品の取扱説明書による
想定時間等	1 日あたりの使用時間	8（時間／日）	
	1 日の使用回数	5（回／日）	
	1 年間の使用日数	110（日／年）	
	スイッチ操作回数	550（回／年）	
	首振り運転の割合	100（%）	

※ 環境条件の温度 30℃、湿度 65%は、JIS C 9601 の試験状態を参考としています。
※ 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火／けが等の事故に至るおそれがあります。
※ “経年劣化” とは、長期にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

アフターサービス

保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。
保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

- 保証期間中（お買い上げ日から 1 年未満）の修理
  保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- 保証期間が過ぎている（お買い上げ日から 1 年以上）修理
  修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

保証期間

お買い上げ日から 1 年間となります。

補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

補修用性能部品の最低保有期間

この扇風機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。
お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

お客様相談窓口

アフターサービスについてご不明な場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

＜サポートセンター＞	＜修理センター＞
TEL: 03-5413-6125 FAX: 03-5413-6128 E-mail でのお問い合わせ: info@aucsale.com 受付時間: 午前 10 時～午後 5 時 （土・日・祝祭日、年末年始および弊社指定休業日を除く）	〒 343-0032　埼玉県越谷市袋山 648-5 株式会社オークセール サポートグループ返品・修理センター

サポートセンターからのお願い

- 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直しください。
- サポートセンターおよび修理センターの電話番号／ FAX 番号、住所は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

siroca の最新情報はこちらでチェック！

siroca公式 Facebook(フェイスブック)
http://www.facebook.com/siroca.jp

チームsirocaのブログ
http://ameblo.jp/siroca/

AucSaleサポートストア
http://aucsale.jp/